



第四十九号 目次

特集

竜
—
聖と俗の守護者

監修・角田泰隆 駒澤大学仏教学部禅学科教授

龍とお寺の長い歴史…………… 8

[illegible]

釈尊の生涯と竜王たちの伝説…………… 14

『法華經』の八大竜王・竜女成仏……………18

中国の竜と伝説……………24

西洋の竜・ドラゴン……………25

日本の伝承と仏道修行……………26

竜と修行・竜と真理……………28

道元禪師と竜の伝説…………… 30

特集特別企画……………34

石川雲蝶と住職たちの物語

針倉山永林寺・赤城山西福寺（新潟県魚沼市）

特集関連企画 42

描かれた龍

監修・山下裕二 美術史家・明治学院大学文学部教授

詣 禪寺を訪ねる……………48

龍澤山善寶寺

龍神様のお寺・曹洞宗の三大祈禱寺院

誌名題字は、高祖道元禪師の残された文書から「禪」「の」「風」の三文字を集字しました。



竜

聖と俗の守護者

監修 角田泰隆（駒澤大学仏教学部禅学科教授）

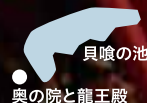
竜は雲を呼び、雨を降らせ、万物をうるおして五穀を実らす。
同時に竜は、仏の教えによって救われることを願っている。
竜とは何か。また、その信仰はどこから来たのだろう。
竜と仏教、竜と人間、そして社会とのかかわりを探ってみたい。

※本特集では、固有名詞や引用部などを除き、基本的に同訓同意の「竜」を用いる。
「常用漢字表」では「竜」が新字体で「龍」は旧字体だが、字としては殷（竜・商）
西周前期の甲骨文字から見られる「竜」が古く、これを選択した。

龍澤山善寶寺

龍神様のお寺・曹洞宗の三大祈禱寺院

多くの雲水が修行の日々を送る専門僧堂・龍澤山善寶寺は、
藤沢周平の時代小説『龍を見た男』でいっそう知られたように、
龍神出現の伝承を持ち、龍神様を祀る祈禱寺院でもある。
主に海にかかわる人々の信仰を広く集める二人の大龍王尊は、
一〇〇〇年前、開基・妙達上人のもとへ初めて姿を現す。
『法華経』の教えを聞き、功德を受けた両大龍王尊は、後に仏弟子となり、
お寺を守護し、また、人々の願いを叶えることを誓った。



龍澤山善寶寺

善宝寺
郵便局

所在地：山形県鶴岡市下川字関根100
電 話：0235-33-3303 (代)
H P：http://ryuoson.jp/
アクセス：JR「鶴岡」駅からバス約40分「善宝寺」下車すぐ
山形自動車道「鶴岡IC」から車で約15分
日本海東北自動車道「鶴岡西IC」から車で約15分